

## 森林資源生産学特論実験 (2単位)

担当者氏名 上原 巖・今富裕樹・菅原 泉・矢部和弘・田中 恵

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本特論実験では、森林の育成と森林生産物の搬出に関する各実験、調査の指導を行なう。各自の研究分野の専門性に対応しながら、森林および森林資源に関する研究課題に対応できる能力を修得し、各自の研究テーマにおける特別演習を行う。実習・演習は7号館実験室、奥多摩演習林、その他の地域の森林などを利用し、テーマ設定、調査手法、各実験・測定分析機器の操作法、データの解析、統計処理等について習熟していく。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

造林学	林業工学	森林資源	調査
実験	測定	データ	解析

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	森林生産の技術 (第1～5週)	(1)森林の立地環境の把握・分析方法 (2) 林木の育成特性の把握・分析方法 (3) 人工更新技術 (4) 天然更新技術 (5)森林生産技術における課題	テーマ1, 2は上原・菅原・田中が担当する。 テーマ3, 4, 5は今富、矢部が担当する。 テーマ6は、上原と今富が協同で担当する。
2	森林の育成と保育技術(第6～7週)	(1) 林木特性、森林生態系を考慮した保育技術 (2) 持続的管理のための造林技術	なお、受講する院生は、
3	林道・作業道の施工技術 (第8～9週)	(1) 林道・作業道の配置法 (2) 林道・作業道の施工技術	本特論実験を通して、
4	伐採搬出技術と機械システムの最適化	(1) GISなどを用いた伐採搬出技術の検討 (2) 森林機械システムのコスト分析	各自の研究課題の達成のために必要な調査設定、調査手法、各実験・
5	作業強度と労働災害 (第13～14週)	(1) 労働科学的手法による作業負担分析 (2) 振動・騒音解析、FTA分析などの災害分析	測定分析機器の操作、データの解析、統計処理等の習熟に努めること。
6	森林資源生産のシステム (第15週)	更新から搬出までの森林資源生産技術の最適化	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

指導教授により、適宜、周知する。

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

修士論文の作成状況を考慮し、評価する。

### ◆オフィスアワー

毎週金曜日の16時以降、各研究室で質問等を受け付ける

### ◆その他受講上の注意事項

実験・実習においては、安全に留意し、的確な調査設定を行い、正確な調査実験のもとで精度の高い結果を得ることができるよう、心掛けること。